【授業科目】看護管理学特論　　Theory of Nursing Administration

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
豊田 妙子	1 年次 後　期	選　択	2	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する フィードバック方法	看護を取り巻く現状および看護管理の発展経緯を理解し、高度実践看護職としてあらゆる場での多職種との連携・協働に必要な看護管理の基本的諸理論について教授する。組織の現状分析と課題および課題解決に向けた方策について検討する。安全で質の高い看護を効率的に提供するための制度や政策および、看護職へのはたらきかけについて討議する。授業は、実務家教員（豊田）が進める。 課題に対するフィードバック方法/提出された課題にコメントをつけて返却する。あるいは全体総評、コメントを授業内で提示する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー②、③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①看護管理の基本となる諸理論について説明することができる。 ②高度実践看護者として、質の高い看護・医療を提供するための組織とその管理運営方法について説明できる。 ③質の高い看護・医療を提供するため、保健医療福祉に携わる人々および組織管理者との調整・連携について理解できる。 ④安全で質の高い看護サービスを効率的に提供するための多職種との連携・協働について具体化できる。 ⑤ケアの質向上や看護職の資質向上のための制度や政策過程について理解できる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	配布された資料は、授業後復習することで学びを深めていくこと。 提示されたレポート課題に関しては、授業資料だけでなく関連文献を検索し、まとめること。 （各回事前事後学習に4時間） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	１．看護実践における看護管理の目的と役割 ２．医療経営管理：医療施設の経営と看護管理 ３．看護組織管理：組織管理理論 ４．看護組織管理：組織行動と組織文化 ５．看護組織管理：労働衛生安全と健康管理 ６．人的資源管理：看護師のキャリア開発の現状と課題 ７．人的資源管理：医療施設における看護の人的資源管理 ８．人的資源管理：看護管理に携わる看護職と高度実践看護職の協働 ９．ヘルスケアシステム：医療・看護の質保証と評価 10. ヘルスケアシステム：多職種連携の現状と課題 保健医療福祉間の調整・連携・協働 11. リスクマネジメント：リスクマネジメントとセーフティマネジメント 12. リスクマネジメント：事業継続計画 13. 看護政策：看護政策の基本的考え方と政策決定過程 14. 看護政策：看護制度・看護政策の課題と看護職の関与 15. 看護管理実践課題 組織における課題を明確にし、解決のための実行可能な計画を発表・討議する	全て 豊田
評価方法 評価基準	プレゼンテーション、討議への参加状況、レポートなどを合わせて総合的に評価する

教科書	使用しない	参考書等	適宜紹介する